

## 第5回北海道口腔保健学会のご報告

第5回北海道口腔保健学会大会長

まなみ歯科 南出 保

平成26年11月14日、北海道大学学術交流会館（札幌市北区北8条西5丁目）にて第5回北海道口腔保健学会が開催されました。今回は、「命の格差は止められるかを通じて考える、持続可能な保健政策」と題して、一冊の本を参加者全員で読んで、一つのテーマについての理解を深め、また、若手の研究者、学部生に本の内容についてプレゼンしていただくミニシンポジウムを企画いたしました。プレゼンターをご紹介いただきました千葉教授（北海道医療大学歯学部保健衛生学）、本多准教授（北海道大学大学院歯学研究科予防歯科学）には、この場を借りてお礼申し上げます（添付資料1）。

また著者のカワチ先生（ハーバード大学公衆衛生大学院教授）に、南出の同窓である相田先生（東北大学大学院歯学研究科国際歯科保健学分野准教授）を通じて企画について伝えましたところ、グリーンディングビデオとメッセージ（添付資料2）を頂きました。ビデオについては、ミニシンポジウムへの卓越した導入となりました。カワチ先生、相田先生には、この場を借りてお礼申し上げます。

ミニシンポジウムでは、6人のプレゼンターが制限時間10分、自己紹介スライド1枚でとプレゼンテーションスライド5枚という制約のなかで、それぞれに工夫と練習を重ねたプレゼンテーションを披露しました。スクールカーストを例に出した社会格差の普遍性の説明、高齢者施設での実習にて実感した人と人の関わりによる健康への影響、本には掲載されていない実際のたばこの広告を用いた写真と言葉の印象への影響力の違いの説明、などなど各プレゼンターは、各章のテーマを良く理解したうえで、より身近な例で主題を掘り下げ、参加者の関心を集めました。

ミニシンポジウムでは、会場からの質問などを交えながら、健康格差の現状と取り組みについて活発に議論がなされ、盛会のうちに終了いたしました（添付資料3）。

## 添付資料 1

プレゼンター略歴（所属はすべて開催時）

### 第1章 日本人はなぜ長寿なのか

稲垣友理奈 北海道大学大学院歯学研究科予防歯科学講座三年

### 第2章 経済格差が不健康の源

高橋睦美 北海道大学大学院歯学研究科予防歯科学講座三年

### 第3章 格差是正のターニングポイント 教育と仕事と健康の関係

板津遼子 北海道医療大学歯学部四年

### 第4章 健康に欠かせない「人間関係」の話

清水綾 北海道医療大学歯学部五年

### 第5章 社会全体の健康はこうして守る

川村桜 北海道大学歯学部五年

### 第6章 果たして、人の行動は変わるのか

橋本里沙 北海道大学歯学部五年

## 添付資料 2

### カワチ先生からのメッセージ

第5回北海道口腔保健学会に参加のみなさま。ハーバード大学大学院社会行動科学学部長・教授のイチロー・カワチです。このたびは、大会テーマに『命の格差は止められるか』を選ばれたと聞いて、うれしく思います。

- ・ 口腔保健は、社会状況の鏡です
- ・ 口腔保健は、国の健康状況のもっとも強固な指標の一つです
- ・ 口腔保健が優れていることは、身体的精神的健康の基本です
- ・ 口腔保健の格差は、社会格差を敏感に反映します

日本は社会と健康の格差拡大の危機に直面しています。社会と健康の格差は、世界に冠たる日本の地位を脅かします。若い研究者が口腔保健の格差への取り組みに興味を示すことをうれしく思います。国民の健康の未来は、みなさんの努力しだいです。みなさまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

Greetings to the delegates of the 5<sup>th</sup> meeting of the Hokkaido Oral Health Society.

I am Ichiro Kawachi, Professor of Social Epidemiology at the Harvard School of Public Health. I am honored that you have selected my book 命の格差は止められるか for discussion at the conference.

- ・ I believe that oral health is an exquisite mirror of social conditions in society.
- ・ Oral health is among the most robust indicators of the health of a nation.
- ・ Good oral health is the foundation for good physical and mental health.
- ・ Social inequalities in oral health are a sensitive marker of inequalities in society.

Japanese society faces an important challenge in terms of growing inequalities in social conditions and health. These inequalities threaten the status of Japanese society as the healthiest nation in the world. I am delighted that young oral health researchers are interested in tackling the problem of oral health inequalities. The future of the nation's health depends upon your efforts. Please accept my best wishes for your success in your future research efforts.

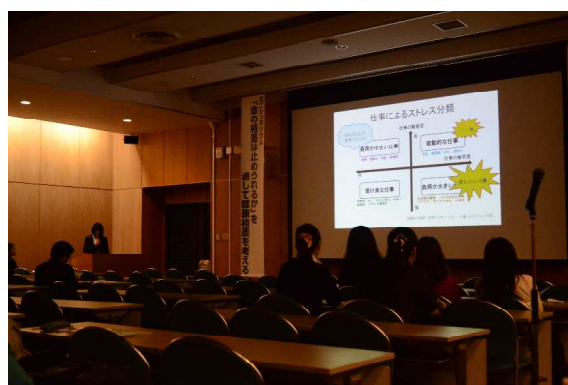
添付資料 3  
当日の写真



カワチ教授のグリーティングビデオ。筆者によるビデオは、卓越した導入になりました。



タイタニックに実在した社会格差の説明。



仕事の裁量度と要求度による分類の説明。教授職は裁量度が大きく要求度が小さい、最もストレスの感じにくいセグメント、という説明には、参加した教授からの反論も。



自己紹介ではいまだきの学生の意外な一面も。



ハイリスクアプローチとポピュレーション戦略についての説明。



たばこの広告を用いた、写真と言葉の印象への影響力の違いの説明。実際の広告を題材にすることで、本を読むよりも格段にわかりやすい説明に。